

3 協働事業実施状況（令和2年度）

① 協働の形態：共催（10件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
1	まちかどミー ティング (協働・男女平 等参画室)	例年実施（昭和47年 頃から継続実施）	市長が各地区に出向いて、 町内会や自治会の方と地域が 抱える課題や要望等につい て、意見を交換する懇談の場 である。また、市民の方に 知っていただきたい情報につ いて、市職員がテーマプレゼ ンテーションとして説明する ことにより、双方向の対話形 式になるよう取り組んでいる。	80町内会	令和 2年 8月25日～ 令和 2年10月29日（261 人） 15地区で開催	例年まちかどミーティングで 400件程度の意見や要望等が提 出されており、各担当課で対応 をしている。市が行うテーマプ レゼンテーションについて、出 席者からは、市の取組をわかり やすく説明してくれて大変い い、継続して行ってほしいとい う意見が出ている。
2	消費生活講演会 (市民生活課)	例年実施	消費者が主体的に合理的な消 費生活を実践できるよう基礎的 な知識や情報を提供し、消費者 意識の高揚を図る。 年1回講演会を実施し、テー マや講師選択、実施について協 力。	苫小牧消費者協会	令和 3年 2月 6日 (約24人)	来場者の皆さんに専門家からの 様々な情報や基礎知識を提供す ることができた。 来場者からも気になっていたこ とを知ることができて良かったと の声があった。
3	リーダー養成事 業 (青少年課)	例年実施（昭和52年 頃から継続実施）	さまざまな体験活動から積極 的に社会参加するたくましい青 少年を育成する目的でリーダー 養成事業を行っているが、本事 業は苫小牧市子ども会育成連 絡協議会の後援事業であり苫 子連主催の各種事業もリーダー 養成認定事業であることから、 各種事業に参加することでポ イントが得られ、リーダー認 定を行う制度を協働で行ってい る。	苫小牧市子ども会育成 連絡協議会	こども会スポーツ交流会 令和 2年10月18日（約9人） こども会芸術祭り 令和 3年 2月13日、14日（約 99人） こども会交流会 令和 3年 3月 6日 (約10人)	子ども達の育成について、市が 単独で事業を実施するよりも協 働して計画及び実施することで、 子ども達に多くの学習機会を提 供することができ、また、多様 な意見を聴取することで更なる 事業の発展に繋がっていると考 えている。

① 協働の形態：共催（10件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
4	市民技能体験教室「庭木の剪定」「内装」「日曜大工」「左官」 (工業・雇用振興課)	例年実施（昭和62年頃から継続実施）	4種共通目的：市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 ・庭木の剪定：庭の手入れについて講義と実技指導 ・内装：家のクロスの剥がし方、貼り方の講義と実演 ・日曜大工：ウッドシェルフの作製、塗装 ・左官：しっくい壁塗り体験、タイルアート作製 ※「内装」「日曜大工」は新型コロナウイルスの影響で中止	4種共通：一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター運営協会 ・庭木の剪定：苫小牧造園協同組合 ・内装：苫小牧内装業協会 ・日曜大工：苫小牧建築大工技能士会、苫小牧塗装工業協同組合 ・左官：苫小牧地方左官協同組合	庭木の剪定 令和 2年 9月26日（15人） 内装 新型コロナウイルスの影響で中止 日曜大工 新型コロナウイルスの影響で中止 左官 令和 3年 3月13日（10人）	各教室終了後のアンケート結果では、無回答者を除いた参加者の100%が満足していると回答している。
5	北海道職業能力開発大学校 能力開発セミナー (テクノセンター)	例年実施（平成27年頃から継続実施）	苫小牧地域の製造関連企業に対して人材育成を実施するために令和2年度技術者研修を計画・実施する。	北海道職業能力開発大学校	機械検査作業実技1・2級（精密測定技術） 令和 2年11月 5日、6日（約3人） 機械系保全作業1・2級（生産現場の機械保全技術） 令和 2年11月 5日、6日（約2人） 特級Ⅰ（生産現場に活かす品質管理技法Ⅰ） 令和 2年11月26日、27日（約3人） 特級Ⅱ（生産現場に活かす品質管理技法Ⅱ） 令和 2年12月 3日、4日（約3人）	セミナーで取得できる技術は、自動車関連や一般機械器具など、苫小牧地区の製造業にとって非常に有用な技術であり、地域企業の技術力向上に寄与できる。
6	令和2年度移動工業試験場 (テクノセンター)	例年実施（平成10年頃から継続実施）	道内中小企業の技術力の向上及び地域産業の振興発展を図ることを目的とする。 技術力向上のための道総研移動技術講習会を実施。	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	令和 2年10月29日（25名）	新たな技術に触れることは、苫小牧地区の製造業にとって非常に有用であり、地域企業の技術力向上に寄与できる。

① 協働の形態：共催（10件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
7	ひずみゲージおよび計測の入門セミナー (テクノセンター)	単年度（新規）実施	最新技術のセミナーを開催し、ものづくり企業のサポートを行う。東京近郊で開催しているセミナーを、地元で開催することで、より身近に技術提供を行う。	早坂理工株式会社札幌営業所	令和 2年10月21日（5名）	ひずみゲージ技術は、自動車関連や一般機械器具など、苫小牧地区の製造業にとって非常に有用な技術であり、地域企業の技術力向上に寄与できる。
8	苫小牧市民塾 (生涯学習課)	例年実施（平成16年頃から継続実施）	生涯にわたって心豊かに生きがいのある人生をおくるために、「生きることは学ぶこと」の視点から、生涯学習や今日的課題に関心のある市民の方々に学習の機会を提供する。	苫小牧市女性団体連絡協議会	令和 3年 1月18日（20名）	平成30年度からSDGsに関連するテーマで開催し、今回で3回目となった。 受講者からは年に何回かシリーズで開催してほしいとの声もあった一方、「エシカル消費」という言葉自体あまり浸透しておらず、講演タイトルも難しかったため、募集段階で何を行うのかがわかりにくいとの声もあった。
9	絵本作家三浦太郎講演会 タイトル：「太郎さんがきました」 (中央図書館)	単年度（新規）実施	苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会と共催し様々な絵本作家さんをお招きし、絵本作家さんの生の声を市民の皆さんに届ける講演会を開催。	苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会	令和 2年10月18日（40名）	準備段階で、明確なビジョン・方向性を打ち出し進むことができた。 装飾関連も細かく準備できたことよって、子ども参加型「ジャングルジム」パネル、顔ハメパネル「みうらたろう号」は、三浦太郎さんはじめ、参加者みなさんに好評だった。 講演会前後で、写真を撮る方が多くいた。
10	苫小牧駒澤大学特任教授 高澤秀次先生 講演会 (中央図書館)	単年度（新規）実施	苫小牧駒澤大学との共催事業。今後苫小牧駒澤大学との連携を深める。さらに文学好きの利用者、学生層の集客を見込み、新たな図書館利用者の獲得を図る。	苫小牧駒澤大学、TRC 苫小牧グループ	令和 2年11月 7日（25名）	苫小牧駒沢の特任教授 高澤秀次先生をお迎えし、先生の専門分野である日本近代文学・日本近代思想史に関連してのお話を行っていただきました。

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（11件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
1	FMとまこまい実行委員会 (政策推進課)	単年度（新規）実施	苫小牧市のコミュニティFM局の設立・放送開始	FMとまこまい実行委員会（前名称：コミュニティFM準備実行委員会）	令和 2年 4月～令和 3年 3月の第3木曜日（約120人）	開局に向けた課題に対し、市の窓口となり解決へ向けた協力を行った。
2	樽前アートフォトコンテスト (まちづくり推進課)	2年に一度実施	市長公約である樽前地区地域振興計画に盛り込んだ22の施策の中で、アートフォトコンテストは樽前地区の魅力を広く一般に知ってもらうための事業である。 また、こうしたことをきっかけに、地域を訪れる人が増えることで交流人口が増加し、地域の活性化に寄与するものと考えられる。	樽前アートフォトコンテスト実行委員会	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会 令和 2年 5月 7日 (書面開催) 令和 2年 8月31日 (書面開催) 令和 3年 3月22日 (書面開催) 樽前アートフォトコンテスト2020 令和 2年11月 2日～ 令和 3年 1月29日	樽前山アートフォトコンテストでは、新聞やホームページ、広報誌等の周知を通じて、328点の応募があり、樽前地区のPRにつなげることができた。
3	苫小牧市公共交通協議会 (まちづくり推進課)	例年実施（平成24年頃から継続実施）	(1)地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関すること (2)地域公共交通計画の策定及び変更の協議に関すること (3)地域公共交通計画の実施に係る連絡調整に関すること (4)地域公共交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること (5)市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項 (6)その他協議会が必要と認めること など	苫小牧市公共交通協議会	令和 2年 5月22日～ 6月 3日 (書面開催) 令和 2年 9月17日(約20人) 令和 3年 2月10日(約20人) 令和 3年 3月26日(約16人)	市内バス路線やJRなどに対し、ダイヤ編成、利用満足度などの面で、実際の利用者である市民の声を反映できる。

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（11件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
4	八地区スポーツフェスティバル (スポーツ都市推進課)	例年実施（昭和51年頃から継続実施）	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	八地区スポーツフェスティバル実行委員会	糸井 令和 2年10月 4日 令和 2年10月18日 令和 2年11月23日 中央南 令和 2年 9月19日 令和 2年10月10日 勇払 令和 2年 9月13日 ※延べ309人	住民が気軽にスポーツに参加できる機会を創出できた。
5	苫小牧市環境基本計画推進会議 (環境保全課)	例年実施（平成16年頃から継続実施）	環境基本計画を推進するため、市民、事業者及び団体、市の三者で構成し、市民の環境意識を高めるために、地球温暖化対策や自然環境保全などの事業の実施に向けて企画及び行動を行う。	苫小牧市環境基本計画推進会議	令和 2年 8月 1日 (32人) 令和 2年 9月12日 (27人)	環境基本計画推進会議主催事業(3事業)を開催し、多数の市民の参加により計画の推進と環境意識の向上が図られた。

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（11件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
6	とまこまい港まつり実行委員会 (観光振興課)	例年実施（昭和30年頃から継続実施）	市内最大のイベントである港まつりの開催・運営。 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約150店舗の露店の出店、一条通での市民おどり、マーチングフェスティバル、港湾エリアでの護衛艦等の一般公開や納涼花火大会を行っている。令和2年度は中止となったが、実行委員会は立ち上げ、開催検討と参加企業等との調整を実施。	とまこまい港まつり実行委員会	令和 2年 4月27日（28人） ※とまこまい港まつりは新型コロナウイルスの影響で中止	とまこまい港まつりは新型コロナウイルスの影響で中止となったが、実施することにより多くの市民が参加することにより、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む事ができる。
7	とまこまいスケートまつり実行委員会 (観光振興課)	例年実施（昭和40年頃から継続実施）	冬の一大イベントであるとまこまいスケートまつりの開催・運営。 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約50店舗の露店の出店、スケート競技やアイスホッケー大会の開催や苫小牧名物「しばれ焼き」を開催している。 令和2年度は中止となったが、実行委員会は立ち上げ、開催検討と参加企業等との調整を実施。	とまこまいスケートまつり実行委員会	令和 2年11月16日（22人） ※とまこまいスケートまつりは新型コロナウイルスの影響で中止	とまこまいスケートまつりは新型コロナウイルスの影響で中止となったが、スケートの街「氷都とまこまい」を市内外にPRし、市外からの観光客も多く訪れている。特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広く愛され、子ども達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめるイベントとなっている。
8	苫小牧アートシアター鑑賞事業実行委員会 (生涯学習課)	例年実施（平成23年度から実行委員会形式で継続実施）	市と企業の協働により、少しでも低料金で多くの苫小牧市民に本物に触れる機会を提供することを目的としている。	苫小牧アートシアター鑑賞事業実行委員会	令和 2年 7月 8日(4人) 令和 2年10月 2日(書面開催) 令和 3年 3月29日(書面開催)	苫小牧アートシアター鑑賞事業については、12月1日(火)に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止した。

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（11件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
9	苫小牧アート フェスティバル 実行委員会 (生涯学習課)	例年実施（平成22年 頃から継続実施）	出光カルチャーパークと周りの文化施設が連携し、「誰もが気軽に文化芸術に触れる機会の充実」を基本コンセプトに市民に気軽にアートに触れてもらうとともに、出光カルチャーパークのすばらしさを知っていただき、市民の憩いの空間の形成を目的としている。	苫小牧アートフェスティバル実行委員会	令和 2年 5月12日（書面開催） 令和 2年 5月27日（書面開催） 令和 2年10月15日（8人） 令和 3年 3月18日（10人）	イベントは新型コロナウイルスの影響で中止となったが、実施することによりワークショップの開催や一般団体の発表機会などを通じ、多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会が作られたとともに、出光カルチャーパークの良さを知ってもらう機会につながる。
10	苫小牧市民文化祭 (生涯学習課)	例年実施（昭和23年 頃から継続実施）	広く苫小牧市民が文化芸術に関する学習成果や活動成果を発表する場を提供することを目的として、例年10月～11月にかけて、ステージ発表、文芸大会、総合展示発表、地域文化祭など、苫小牧市文化団体協議会の主導による多くの市民の協力で行っている。	苫小牧市民文化祭実行委員会（苫小牧文化団体協議会等）	市民文化祭表彰式 令和 2年11月28日（29人）	文化団体等の市民と共通のイベントに対して共に取り組むことで、目標や課題を共有しながら、文化芸術に関する学習成果や活動成果を発表・鑑賞する場を創出している。 また、地域の文化団体の交流の場にもなっており、地域や文化団体のつながりづくり、各文化団体のコラボレーション等による相乗効果も見込まれる。

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（11件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
11	苫小牧市成人式 (生涯学習課)	例年実施	成人式の式典の企画立案や成人式当日の運営に参画することで、主体的に行動する苫小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。	成人式実行委員会	委員会 令和 2年 9月 2日 (10人) 令和 2年 9月16日 (7人) 令和 2年 9月30日 (7人) 令和 2年10月14日 (9人) 令和 2年10月27日 (8人) 令和 2年11月 5日 (9人) 令和 2年11月11日 (9人) 令和 2年11月25日 (8人) 令和 2年12月 8日 (8人) 令和 2年12月16日 (8人) 令和 2年12月23日 (8人) 令和 3年 1月 5日 (10人) 令和 3年 3月25日 (10人) 式典 令和 3年 1月 8日 (95人) 令和 3年 1月10日 (885人) ※令和 3年苫小牧市成人式 ・出席者980人 (対象者1,423人) 出席率 68.9%	活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
1	苫小牧市ワーク ライフバランス 等企業表彰 (協働・男女平 等参画室)	単年度（新規）実施	男女平等参画社会の実現に向け て、仕事と家庭等が両立できる職 場環境づくりや、いきいきと働き 続けることができる職場の実現に 向けて、取組を実施している市内 の企業、社団法人、財団法人、N PO法人等（以下、「企業等」と いう）を表彰して、広く事例を公 表することで、ワークライフバラ ンスや女性活躍に関する働き方 についての社会的気運の醸成を図 ることを目的とします。	平等社会を推進する ネットワーク苫小牧 苫小牧商工会議所 (一社)北海道中小企 業家同友会苫小牧支部 (一社)苫小牧青年会 議所	表彰企業の募集 令和 2年 6月 3日～ 平成 2年 8月30日 表彰式 令和 2年11月25日（約16人）	表彰企業の取組について特別講 演会の中で発表してもらったが、 特別講演会終了後のアンケート調 査において、特別講演会に参加し た73%の方が特別講演会に参加し て大いに参考になったとしてお り、苫小牧市内におけるワーク・ ライフ・バランス等の市内事業の 気運醸成 に貢献できた。
2	国際交流ボラン ティア事業 (国際リゾート 戦略室)	例年実施（平成4年 頃から継続実施）	国際交流や国際協力に関心のある 市民に国際交流ボランティアと して登録してもらうことで、市民 と共にまちの国際化を進めること を目的とする。	国際交流ボランティア 登録者（令和2年度末登 録者数200人）	ボランティア講師による国際交 流サロン日本語教室 通年で292回実施 (ボランティア9人、延べ参加者 778人)	外国人住民との交流や日本人市 民が異文化を理解するきっかけと なるなど、まちの国際化に一定の 効果を与えている。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
3	苫小牧市自主防災組織連合会の運営 (危機管理室)	例年実施（平成28年から継続実施）	各自主防災組織のネットワークを構築し、情報の共有化を柱とした活動を推進。地域間の防災活動に見られる格差の解消と防災知識の向上を図る。	市内で設置されている町内会の自主防災組織60町内会のほか、総合防災訓練実施時においては、苫小牧市消防団、苫小牧警察署などの防災関係機関も参画	専門委員会 令和 2年 4月 9日(9人) 北海道地域防災マスター認定研修会 令和 2年10月24日(29人) 防災研修会 令和 2年10月27日(24人)	これまで町内会単位で実施されていた地域防災活動について、新たに具体的な情報共有体制が構築され、相互に情報交換や訓練等の地域活動がしやすくなる。
4	災害時要援護者支援プラン（避難行動要支援者支援制度）の構築 (危機管理室)	例年実施（平成28年から継続実施）	災害時に自分ひとりで移動したり、情報を得たりすることが難しく、災害が起きた時に手助けが必要な要支援者を、近隣の地域、町内会、自主防災組織等の人たちで支える仕組み。 現行のプランは、平成25年に東日本大震災での教訓を踏まえ、災害対策基本法が改正され、市町村長に「避難行動要支援者名簿」の作成が義務付けられるとともに、本人同意のもと避難行動要支援者名簿を、地域の町内会・自主防災組織等に事前に提供する避難支援策となり、その新制度による推進を図っている。	市内で設置されている町内会、自主防災組織等の44町内会に導入。今後、ブロック毎、個別等の説明会等を実施して、全町内会にシステムを構築していく。また、社会福祉協議会、苫小牧市消防本部、苫小牧市消防団、苫小牧警察署等の関係機関と協力・連携し、構築の推進を図る。	自治会長に対する避難行動要支援者制度説明 令和 2年 7月17日（1人） ※勇払自治会	新型コロナウイルスの影響により、会議や会合が開催できなかったため、自治会長に対する避難行動要支援者制度説明のみ実施した。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
5	「053（ゼロごみ）の日」 (春・秋) (ゼロごみ推進課)	例年実施（昭和62年頃から継続実施）	昭和62年度より、大掃除月間中の日曜日を、清潔で住みよいまちづくりのため、自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的に「まちをきれいにする日」と定めた。以来、全市一斉に付近の道路・公園・空き地などの清掃を実施。 平成24年度から「ゼロごみの日」と改称。	町内会、自治会、事業所、学校、子供・老人クラブ等	令和 2年10月 1日～31日 (234団体13,889人) ※例年4月にも実施していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。	まちぐるみで清掃活動を行った結果、長期間放置されたごみが拾われ、まちがきれいになったほか、市民の環境美化への意識が高まった。
6	苫小牧市環境美化活動事業 (ゼロごみ推進課)	例年実施（平成27年頃から継続実施）	苫小牧市内の環境美化を目的とし、市と町内会（自治会）が協働して事業を実施 (1)地域の大掃除 (2)不法投棄又は不適正排出のパトロール (3)文書の配付又は看板の設置等による啓発 (4)折りたたみ式ごみステーション設置の取りまとめ (5)ごみステーション周辺の清掃又は花壇の設置等による環境整備 (6)団体間における環境美化に係る意見交換又は協議	町内会・自治会 計80団体	令和 2年 4月 1日～ 令和 3年 3月31日 (約15,233人)	環境美化活動を町内会（自治会）と協働で実施することで、地域事情に応じた取組が可能となり、その結果、市民の環境美化への意識が高まった。
7	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (ゼロごみ推進課)	例年実施（平成5年頃から継続実施）	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会は、ごみの減量と資源化を全市的な運動とすることを目的に設立された組織であり、集団回収活動が効率よく行われるよう情報提供等を行っている。 (1)集団回収（通年） (2)資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換と連携の強化 (3)資源回収団体奨励金制度による支援	町内会・自治会、老人クラブ、学校PTA、同好会、各種団体等	役員会 令和 2年 7月22日（6名） 令和 3年 2月24日（6名） 総会 令和 2年 7月28日（書面開催、238団体へ送付）	集団回収活動は、ごみの減量・リサイクル、地域のコミュニティ活動にもつながることから今後も活動を支援する。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
8	「突撃！とまエコ企業」動画制作 (環境保全課)	単年度（新規）実施	苫小牧市内の企業におけるエコな取組を取材し、作成した動画をインターネット上で公開することで、市民への環境啓発を行う。 公開方法：苫小牧市公式YouTubeチャンネルにアップロード 周知：環境保全課HP、新聞	株式会社イワクラ 苫小牧バイオマス発電株式会社	令和 3年 1月	動画としてインターネット上に公開したことにより、市内企業の有益な環境情報を幅広く発信することができ、市民への環境啓発につながった。
9	令和元年度苫小牧市内企業第一回合同OBOG懇談会 (港湾・企業振興課)	単年度（新規）実施	道央地域のものづくり、特に地元産業のこれからを支える優秀な理系人材の道外への流出抑制、学生と企業とのマッチング機会の創出及び企業支援の側面から、企業合同による企業説明会を開催。	いすゞエンジン製造北海道株式会社、トヨタ自動車北海道株式会社、北海道曹達株式会社、株式会社松本鐵工所	令和 3年 1月19日（約280人）	企業と学生とのマッチング機会の創出により、相互理解を深め、雇用機会の創出・促進を図ることができた。
10	経済産業省地域イノベーション基盤整備事業 「超微細四次元X線CT解析装置導入セミナー」 (テクノセンター)	単年度（新規）実施	苫小牧市テクノセンターに導入された『超微細四次元X線CT解析装置 ブルカージャパン(株)製 Skyscan2214』について周知を図り、多くの企業・研究機関の広域的な活用を促進するため。	室蘭工業大学、公立千歳科学技術大学、(公財)道央産業振興財団、苫小牧工業高等専門学校	令和 2年12月15日（44人） 令和 2年12月16日（13人） 令和 2年12月17日（13人）	自動車関連や一般機械器具など、苫小牧地区の製造業にとって非常に有用な技術であり、地域企業の技術力向上に寄与できる。
11	苫小牧クリーンアップ・サポーター制度 (緑地公園課)	例年実施（平成14年頃から継続実施）	住民や団体などのボランティア活動により、道路や公園など公共施設の環境美化活動を行うことで、清潔で美しい街を保つ。	38団体、3個人で登録し、合計登録者数1,896人（うち、パークゴルフ場維持管理を中心とした団体は、13団体）	令和 2年 4月 1日～ 令和 3年 3月31日 (1,896人)	地域の道路や公園がきれいに保たれている。 パークゴルフ場は、芝刈りなどの作業をして頂いていることから、コースがきれいに保たれて多くの利用者に喜ばれている。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
12	本のぼくりっこ市 (中央図書館)	例年実施（平成22年頃から継続実施）	図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換することで、本の再利用と図書館の利用促進を図る。	図書館ボランティアグループ	令和 2年 8月 2日（147人）	毎年好評の事業で市民、ボランティアの方々に認知されている事業である。ボランティア同士の交流の場としても活用いただいている事業であり、読書推進と市民協働の両面で効果を生み出す事業となっている。 コロナ感染拡大防止のため、場所を例年の講堂から、図書館入り口前で実施した。
13	青空子どもとしゃかん「みつけよう！大好きな本」 (中央図書館)	例年実施（昭和62年頃から継続実施）	図書館と図書館の読み聞かせボランティアグループが協力し、図書館入り口前、公園において、各団体のおすすめ本の展示を行い、貸出をした。 あわせて、マイクを使い適度な距離をとって絵本の読み聞かせを行った。 子どもたちに、夏の暖かい気候と文化公園の自然のもと、野外で本を選んでもらうことで本に興味をもってもらうきっかけにしたい。	にじのはし、苫小牧子ども本の会、でんでん虫サークル	令和 2年 8月 8日（120人）	天気に恵まれ、熱中症などの大きなトラブルもなく、子どもたちも保護者の方も珍しがって楽しそうにしていた。コロナ渦でよみかけが難しい中、マイクを使い適度な距離をとって実施もできた。
14	朗読研修会 (中央図書館)	例年実施（平成26年頃から継続実施）	図書館の対面朗読サービスに協力いただいているボランティア団体に対し、研修機会を提供することで、サービスの質的向上を図り、ひいては市民サービスの向上を目指すもの。今回は図書館内での会場ではなく「苫小牧市民活動センター」にて実施した。	苫小牧市朗読赤十字奉仕団	令和 2年10月 9日（22人）	毎年定期的開催することにより、参加者のスキルアップが図れる事業。技術向上することにより、より良いサービスの提供が可能となるため、今後も継続していく。 またスタッフが視覚障がい者向けサービス内の一つである朗読技能の研修を受ける事で図書館サービスの向上を図ることができる。

③ 協働の形態：その他（事業協力）（16件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
15	定例おはなし会 (中央図書館)	例年実施（平成元年 頃から継続実施）	図書館ボランティア読み聞かせ グループ等の協力を得て、子ども たちの読書活動の推進を図る。	図書館ボランティア読 み聞かせグループ等	令和 2年 4月 1日～ 令和 3年 3月31日 (353人)	定例の図書館事業であるが、継 続的な読書推進事業として欠かせ ない事業。定期的に図書館へ足を 運んでもらう事により、参加者同 士、参加者とボランティアとのコ ミュニケーションの場としても活 用されている。令和2年度は「新 型コロナウイルス感染拡大」の影 響により4月～5月開催のおはなし 会は中止となり、実施回数、参加 人数ともに例年比で減少した。
16	苫小牧市美術博 物館ボランティ ア運営登録事業 (美術博物館)	例年実施（平成25年 頃から継続実施）	美術や博物事業に関する見識や 熱意を有する方々の協力を得て、 市民と協働した美術博物館活動を 組織的に推進し、館事業の円滑な 運営を図るため、ボランティア登 録制度を導入し、活動を行うため に必要な支援を行う。	苫小牧市美術館友の会	令和 2年 4月17日 (16人) 令和 2年 4月28日 (新型コロナ ウイルスの影響で中止) 令和 2年 7月17日 (23人) 令和 2年10月 9日 (19人) 令和 3年 1月 8日 (14人) 令和 3年 3月21日 (27人) (延べ 99人)	各展覧会において、受付・案 内・監視業務をしていただいたこ とで、職員の業務負担が軽減さ れ、別の業務を行うことができ た。監視業務においては、気づい たことや観覧者からのご意見など 学芸員に伝えていただき、細やか な対応をすることができた。ま た、年6回（うち1回はコロナで中 止）の研修会を通して、当館の事 業に対する理解を得られたと同時 に展覧会前の展示会解説等は好評 を得ている。

④ 協働の形態：後援（181件）

【苫小牧市名義】（108件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
1	婚活パーティ2020～とまこ・My・Love～	苫小牧商工会議所	政策推進室
2	まちなかイベント広場	まちなかイベント広場実行委員会	まちづくり推進課
3	苫小牧駅前野外フェス「活性の火'20」	活性の火実行委員会	まちづくり推進課
4	北海道学生野球春季リーグ戦及び秋季リーグ戦	北海道学生野球連盟	まちづくり推進課
5	2020レッツ・トライ・ダンシング第1期第2期第3期	北海道ボールルームダンス連盟	まちづくり推進課
6	JFAフットボールデー2020 北海道in苫小牧	苫小牧地区サッカー協会	スポーツ都市推進課
7	第1回苫小牧市民スポーツ大会ボールルームダンス競技会	苫小牧ボールルームダンスアスリート協会	スポーツ都市推進課
8	~EZO CITY THE BATTLE 2020~北海道学童軟式野球都市対抗戦	一般社団法人 北海道チャンピオンシップ協会	スポーツ都市推進課
9	北海道オリエンテーリング2日間複合大会	北海道オリエンテーリング協会	スポーツ都市推進課
10	令和2年度 苫小牧市中学校体育大会新人戦 第41回苫小牧市中学校秋季バスケットボール大会	苫小牧市中学校体育連盟	スポーツ都市推進課
11	2020年度 第32回 全道U-15フットサル選手権大会兼JFA第26回全日本U-15フットサル選手権大会 北海道代表決定戦	苫小牧地区サッカー協会	スポーツ都市推進課
12	東胆振中学校体育大会冬季大会	東胆振中学校体育連盟	スポーツ都市推進課
13	第9回苫小牧ビアリーグ	苫小牧ビアリーグ普及委員会	スポーツ都市推進課
14	第26回全日本フットサル選手権大会	苫小牧地区サッカー協会	スポーツ都市推進課
15	ランニングバイクレース【苫小牧カップVol.4】	株式会社ロックス	スポーツ都市推進課
16	第73回北海道高等学校スケート競技選手権大会兼第72回北海道体育大会冬季大会スケート競技大会兼第76回国民体育大会冬季スケート競技会・アイスホッケー競技会北海道予選会	駒澤大学附属苫小牧高等学校	スポーツ都市推進課
17	令和2年度苫小牧スケート連盟主催・主管競技	苫小牧スケート連盟	スポーツ都市推進課
18	令和2年度北海道中学校体育大会 第51回北海道中学校アイスホッケー大会	第51回北海道中学校アイスホッケー大会 実行委員会	スポーツ都市推進課
19	2021レッツ・トライ・ダンシング（第1期）（第2期）	北海道ボールルームダンス連盟	スポーツ都市推進課
20	2021ニッポンハムレディスクラシック大会	ニッポンハムレディスクラシック大会事務局	スポーツ都市推進課
21	第76回国民体育バドミントン競技北海道予選会 兼 令和3年度北海道体育大会バドミントン競技会	北海道地区バドミントン協会、苫小牧地区バドミントン協会	スポーツ都市推進課
22	北海道学生野球春季リーグ戦及び秋季リーグ戦	北海道学生野球連盟	スポーツ都市推進課
23	第1回苫小牧市民スポーツ大会ボールルームダンス競技会	苫小牧ボールルームダンスアスリート協会	スポーツ都市推進課
24	第58回苫小牧朝野球大会	苫小牧民報社	スポーツ都市推進課
25	第51回道新杯争奪小学生アイスホッケー大会	苫小牧小学生アイスホッケー同好会連合会	スポーツ都市推進課

④ 協働の形態：後援（181件）

【苫小牧市名義】（108件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
26	北海道meijiカップジュニアゴルフ大会	北海道文化放送株式会社	スポーツ都市推進課
27	高円宮賜杯第40回記念全日本学童軟式野球大会マクナルト・トナメント北海道大会	北海道軟式野球連盟苫小牧支部	スポーツ都市推進課
28	第35回NHK杯争奪中学・高校アイスホッケー大会 兼 第62回日胆中学アイスホッケー大会	苫小牧アイスホッケー連盟	スポーツ都市推進課
29	苫小牧パワーリフティング協会45周年記念記録会（ベンチプレス）	苫小牧パワーリフティング協会	スポーツ都市推進課
30	令和2年度 苫小牧市中学校体育大会 苫小牧市中学校秋季卓球競技大会 兼東胆振中学校秋季卓球競技大会	苫小牧市中学校体育連盟	スポーツ都市推進課
31	令和2年度防災ボランティア講座	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター	危機管理室
32	令和2年度防災ボランティア登録者研修交流会	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター	危機管理室
33	陸上自衛隊第7音楽隊第45回定期演奏会	陸上自衛隊第7師団	危機管理室
34	地域在来植物の保全と資源化に関する講演会	苫小牧植物資源協議会	環境生活課
35	ラブアース・クリーンアップin北海道2020	NPO法人北海道市民環境ネットワーク	ゼロごみ推進課
36	第3回リサイクル川柳	苫小牧廃棄物協同組合	ゼロごみ推進課
37	浜辺クリーン大作戦	Clean Ocean Project	ゼロごみ推進室
38	第31回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	苫小牧工業高等専門学校長	工業・雇用振興課
39	ビジネスEXPO「第34回北海道 技術・ビジネス交流会」	北海道技術・ビジネス交流会実行委員会	工業・雇用振興課
40	潜在人材掘り起こし推進事業	北海道	工業・雇用振興課
41	ママナビフェスタ2020 苫小牧	株式会社MammyPRO	工業・雇用振興課
42	組織を活性化させるチームマネジメントの進め方	独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部中小企業大 大学校旭川校	工業・雇用振興課
43	小規模事業者持続化補助金活用セミナー2020	胆振地域中心市街地活性化協議会	商業振興課
44	「ドライブスルーdeはしご飯 IN TOMAKOMAI」	R.Y.H (Rise Your Hands)	商業振興課
45	カクテルライブ2020	苫小牧バーテンダーズ倶楽部	商業振興課
46	事業継承対策セミナー&個別相談会	苫小牧商工会議所	商業振興課
47	苫小牧商工会議所青年部「青い折り鶴プロジェクト」	苫小牧商工会議所青年部	商業振興課
48	苫小牧市テクノセンターで実施する技術者研修（8コース）	北海道職業能力開発大学校	テクノセンター
49	令和2年度移動工場試験場	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	テクノセンター
50	ひずみゲージおよび計測の入門セミナー	早坂理工株式会社札幌営業所	テクノセンター

④ 協働の形態：後援（181件）

【苫小牧市名義】（108件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
51	苫小牧漁業協同組合「苫小牧産ホッキ貝（涙の）ドライブスルー販売会」	苫小牧漁業協同組合	農業水産振興課
52	全麵協「第14回素人そば打ち段位認定苫小牧大会」	素人そば打ち段位認定苫小牧大会実行委員会	観光振興課
53	JRヘルシーウォーキング2020（令和2年5月）	株式会社北海道ジェイ・アール・サービス・ネット	観光振興課
54	とまこまいホッキカレーマップ	とまこまいカレーラーメン振興局	観光振興課
55	JRヘルシーウォーキング2020（令和2年11月）	株式会社北海道ジェイ・アール・サービスネット	観光振興課
56	とまこまい・東いぶりカレーラーメンマップ（第9弾）	苫小牧カレーラーメン振興局	観光振興課
57	苫小牧『夢』花火2020 ～上を向いて笑おう～	苫小牧夢花火実行委員会	観光振興課
58	苫東インダストリアルパークフォトコンテスト2020	株式会社苫東	港湾・企業振興課
59	市民ボランティア講座	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会ボランティアセンター	総合福祉課
60	点訳ボランティア初心者講習会	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会	総合福祉課
61	朗読ボランティア初心者講習会	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会	総合福祉課
62	居場所「とまとま」	特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	総合福祉課
63	傾聴ボランティア講習会	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会	総合福祉課
64	ふれあいサロン研修交流会	苫小牧市町内会連合会、苫小牧市老人クラブ連合会	総合福祉課
65	第37回「障がい者の日」記念文化祭	苫小牧身体障がい者福祉連合会	障がい福祉課
66	「障がい児のアドベンチャースクールいけまぜ夏フェス」写真パネル展	NPO法人障がい児の積極的な活動を支援する会 にわとりクラブ	障がい福祉課
67	認知症サポーター養成講座	日本生命保険相互会社苫小牧支社	介護福祉課
68	巡回母子保健教室プレママわくわくセミナーハロー赤ちゃん！	公益財団法人母子衛生研究会	健康支援課
69	オンラインイベント・RFL セルフウォークリレー	リレー・フォー・ライフ・ジャパンとまこまい実行委員会	健康支援課
70	第11回市民交流健康マーじゃん大会	苫小牧麻雀文化教室	健康支援課
71	寺子屋こども食堂	NPO法人寺子屋こどもの未来	こども支援課
72	子ども食堂 木と風の冬ごもり	NPO法人木と風の香り	こども支援課
73	フードバンクとまこまい 食糧300セット無償ご提供イベント	フードバンクとまこまい	こども支援課
74	ボランティア体験プログラム	社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会	青少年課
75	第14回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト北海道地区大会	苫小牧ガス株式会社	総務企画課

④ 協働の形態：後援（181件）

【苫小牧市名義】（108件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
76	第45回苫小牧フォトコンテスト	苫小牧写真連盟	総務企画課
77	第67回苫小牧市内小学生図画コンクール	株式会社三星	総務企画課
78	第48回夏休み読書感想画コンクール	苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRCグループ	総務企画課
79	苫小牧西子ども劇場鑑賞例会	苫小牧西子ども劇場	総務企画課
80	苫小牧市文化団体協議会創立50周年記念講演会	苫小牧市文化団体協議会	総務企画課
81	令和2年度第44回道民芸術祭 第51回胆振芸術祭「水彩画展」	苫小牧市文化団体協議会	総務企画課
82	苫小牧フィールドラリー～みんなで苫小牧を探検だ！！～	一般社団法人苫小牧青年会議所	総務企画課
83	TANZ フェスティバル VOL31	TANZ DANCE STUDIO	総務企画課
84	高澤秀次特任教授講演授業	学校法人京都市英館苫小牧駒澤大学	総務企画課
85	演劇集団「群'73」自主公演「ぬれぎぬ」	演劇集団「群'73」	総務企画課
86	かんばやしまなぶLIVE2020「負けてたまるか」	かんばやしまなぶコンサート実行委員会	総務企画課
87	第45回苫小牧フォトコンテスト	苫小牧写真連盟	総務企画課
88	キッズエンジニアinトヨタ自動車北海道2020	公益社団法人自動車技術会北海道支部	総務企画課
89	樽前アートフォトコンテスト	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会	総務企画課
90	苫小牧市文化団体協議会創立50周年記念講演会	苫小牧市文化団体協議会	総務企画課
91	第31回苫小牧みずゑ会	苫小牧みずゑ会事務局	総務企画課
92	FUNSTEPS 音楽の贈り物	FUNSTEPS	総務企画課
93	第63回苫小牧地方珠算記録会	苫小牧商工会議所	総務企画課
94	第56回苫小牧市内小学生書き初めコンクール	株式会社新生 苫小牧・室蘭支社	総務企画課
95	外山啓介ピアノリサイタル	外山啓介ピアノリサイタル実行委員会	総務企画課
96	こども絵画コンクール	一般社団法人室蘭地区トラック協会	総務企画課
97	無料コミセンふれあい囲碁教室	苫小牧囲碁伝統文化普及会	総務企画課
98	演劇及び文化創造集団C.A.W第15回公演「五時、アオイの蕾がひらくとき」	演劇及び文化創造集団C.A.W	総務企画課
99	エルム楽器苫小牧支店・千歳支店第13回ジュニアピアノコンサートin苫小牧	ジュニアピアノコンサート実行委員会	総務企画課
100	第13回イマジンコンサート～HEIWAの鐘	ぴーすぷろじえくと苫小牧	総務企画課
101	札幌交響楽団苫小牧公演	公益財団法人札幌交響楽団	総務企画課
102	苫小牧西子ども劇場地域公演	苫小牧西子ども劇場	総務企画課

④ 協働の形態：後援（181件）

【苫小牧市名義】（108件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
103	田中弘琳社中展、いけ花体験及び作品展	田中弘琳社中	総務企画課
104	演劇及び文化創造集団C. A. W第15回公演	演劇及び文化創造集団C. A. W	総務企画課
105	2020年度ピティナ・ピアノステップ苫小牧地区	一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会	総務企画課
106	黒岩真美Presents第11回音楽祭TOMAKOMAI MUSIC FESTIVAL	TMF実行委員会	総務企画課
107	「トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン」コンサート札幌公演	トヨタ自動車北海道株式会社	生涯学習課
108	第72回苫小牧市民文化祭行事	苫小牧市民文化祭実行委員会	生涯学習課

④ 協働の形態：後援（181件）

【教育委員会名義】（73件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
1	寺子屋こども食堂	NPO法人寺子屋こどもの未来	総務企画課
2	「カレーライスを一から作る」上映会	ふくトマ	総務企画課
3	福祉の学習	社会福祉法人 苫小牧市社会福祉協議会	総務企画課
4	明るい選挙啓発ポスターコンクール	苫小牧市選挙管理委員会事務局	総務企画課
5	教育カウンセリング学習会	真鍋 孝徳	総務企画課
6	第48回夏休み読書感想画コンクール	苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRCグループ	総務企画課
7	苫小牧フィールドワークラリー～みんなで苫小牧を探検だ！！～	一般社団法人苫小牧青年会議所	総務企画課
8	令和2年度 胆振地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会	北海道高等学校長協会定通部会胆振支部理事	総務企画課
9	キッズエンジニアinトヨタ自動車北海道2020	公益社団法人自動車技術会 北海道支部	総務企画課
10	ママナビフェスタ2020苫小牧	(株)M a m m y P r o	総務企画課
11	2020年度公益財団法人日本社会福祉弘済会社会福祉助成金 地域共生型ひきこもり包括支援プラットフォーム構築事業 居場所「とまとま」	非特定営利法人 レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	総務企画課
12	第37回「障がい者の日」記念文化祭	苫小牧身体障がい者福祉連合会	総務企画課
13	あびらぼ出張探究授業「アート編」	安平町教育委員会 教育長 種田 直章	総務企画課
14	キッズ・マネー・スクール	北海道キッズマネースクールだいしん校	総務企画課
15	「子どもの潜在能力を引き出す脳科学」講座	一般社団法人 日本リーダー育成推進協会	総務企画課
16	「障がい児のアドベンチャースクール いけませ夏フェス」写真パネル展	特定非営利活動法人障がい児の積極的な活動を支援する会	総務企画課
17	こども絵画コンクール	一般社団法人室蘭地区トラック協会	総務企画課
18	ジュニアボランティア活動育成事業（ボランティアスクール）	青少年課長 高坂 博幸	総務企画課
19	子ども食堂 木と風の冬ごもり	NPO法人木と風の香り	総務企画課
20	ヒューマンアカデミーロボット教室 ロボット制作、プログラミング無料体験会	ヒューマンアカデミーロボット教室	総務企画課
21	第9回北海道横断！教師力向上教え方セミナー IN 胆振・日高	NPO法人 Let's Kids うとねっと	総務企画課
22	大道仮設実験〈モクモク〉講座	NPO法人楽知ん研究所	総務企画課
23	もっと〈ぶんしっし〉！講座	NPO法人楽知ん研究所	総務企画課
24	親子孫で〈たのしい仮設実験〉「レンズのヒ・ミ・ツ」講座	NPO法人楽知ん研究所	総務企画課
25	生活困窮世帯子どもの学習支援事業	苫小牧市	総務企画課
26	第88回NHK全国学校音楽コンクール室蘭地区大会	NHK室蘭放送局	総務企画課

④ 協働の形態：後援（181件）

【教育委員会名義】（73件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
27	北海道高等学校文化連盟 第43回全道高等学校図書研究大会	北海道高等学校文化連盟	総務企画課
28	樽前山麓ネイチャー探検！	自然ウオッチングセンター	生涯学習課
29	こどものための自然学校 イエティくらぶ（いぶり校）	特定非営利活動法人いぶり自然学校	生涯学習課
30	ユニセフ（国際連合児童基金）支援募金のための諸活動	（公財）日本ユニセフ協会協定地域組織 北海道ユニセフ協会	生涯学習課
31	第45回苫小牧フォトコンテスト	苫小牧写真連盟	生涯学習課
32	第67回苫小牧市内小学生図画コンクール	（株）三星	生涯学習課
33	第6回苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール	苫小牧市立中央図書館 指定管理者TRC苫小牧グループ	生涯学習課
34	苫小牧西子ども劇場 鑑賞例会	苫小牧西子ども劇場	生涯学習課
35	第13回 自然と遊ぼう！エコ遊び！	苫小牧発明研究会	生涯学習課
36	苫小牧市文化団体協議会創立50周年記念講演会	苫小牧市文化団体協議会	生涯学習課
37	令和2年度 第44回道民芸術祭 第51回胆振芸術祭「水彩画展」	苫小牧市文化団体協議会	生涯学習課
38	高澤秀次特任教授講演事業	学校法人京都市育英館苫小牧駒澤大学	生涯学習課
39	「証」演奏会～苫小牧吹奏楽研究大会	苫小牧吹奏楽連盟	生涯学習課
40	TANZ フェスティバル VOL31	TANZ DANCE STUDIO	生涯学習課
41	演劇集団「群'73」 自主公演 「ぬれぎぬ」	演劇集団「群'73」	生涯学習課
42	かんばやしまなぶLIVE2020「負けてたまるか」	かんばやしまなぶコンサート実行委員会	生涯学習課
43	苫小牧市立青翔中学校吹奏楽部 第4回定期演奏会	苫小牧市立青翔中学校吹奏楽部後援会	生涯学習課
44	第45回苫小牧フォトコンテスト	苫小牧写真連盟	生涯学習課
45	苫小牧市立明倫中学校吹奏楽部 第28回定期演奏会	明倫中学校吹奏楽部後援会	生涯学習課
46	令和2年度 書と篆刻展 併催 書の仲間による人生節目の書展 -尚墨会・玉筍会-	尚墨会	生涯学習課
47	第3回リサイクル川柳	苫小牧廃棄物協同組合	生涯学習課
48	樽前アートフォトコンテスト	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会	生涯学習課
49	第35回 苫小牧民報杯小・中学生将棋大会	日本将棋連盟苫小牧支部	生涯学習課
50	苫小牧市文化団体協議会創立50周年記念講演会	苫小牧市文化団体協議会	生涯学習課
51	第31回苫小牧みずゑ展	苫小牧みずゑ会事務局	生涯学習課
52	第18回 「翼の会」演奏会	コンサートグループ「翼の会」	生涯学習課

④ 協働の形態：後援（181件）

【教育委員会名義】（73件）

No.	事業の名称	主催者	担当部署
53	FUNSTEPS 音楽の贈り物	FUNSTEPS	生涯学習課
54	第63回苫小牧地方珠算記録会	苫小牧商工会議所	生涯学習課
55	第56回苫小牧市内小学生書き初めコンクール	株式会社新生 苫小牧・室蘭支社	生涯学習課
56	第30回ガラ・コンサート	豊川小学校吹奏楽同好会	生涯学習課
57	緑小・美園小学校合同スクールバンド同好会 定期演奏会	緑小・美園小学校合同スクールバンド育成会	生涯学習課
58	樽前山麓ネイチャー探検～冬の森探検！	自然ウォッチングセンター	生涯学習課
59	エルム楽器苫小牧支店・千歳支店 第13回ジュニアピアノコンサートin苫小牧	ジュニアピアノコンサート実行委員会	生涯学習課
60	苫小牧西子ども劇場 地域公演	苫小牧西子ども劇場	生涯学習課
61	札幌交響楽団 苫小牧公演	公益財団法人札幌交響楽団	生涯学習課
62	演劇及び文化創造集団C. A. W第15回公演	演劇及び文化創造集団C. A. W	生涯学習課
63	第22回苫小牧アンデパンダン展	苫小牧美術愛好会	生涯学習課
64	第9回千葉理恵子「音の花束」シリーズ 演奏会 岡本孝慈（ピアノ）&千葉理恵子（ピアノ）～舞曲の楽しみ～	千葉 理恵子	生涯学習課
65	かんばやしまなぶLIVE2021	かんばやしまなぶLIVE実行委員会	生涯学習課
66	コミセンふれあい囲碁教室	苫小牧囲碁伝統文化普及会	生涯学習課
67	2021年度ピティナ・ピアノステップ苫小牧地区	一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会	生涯学習課
68	FUNSTEPS 音楽のおくりもの	FUNSTEPS	生涯学習課
69	名作こども映画会	守屋教育映画	生涯学習課
70	ボランティア体験プログラム ～ボランティアの世界へようこそ！～	社会福祉法人 苫小牧市社会福祉協議会	生涯学習課
71	ペルトラック光る絵本展inとまこまい	とまこまいクリエイティブラボ合同会社	生涯学習課
72	とまこまい100%アンサンブルコンサート（第11回黒岩真美音楽祭）	黒岩真美音楽祭実行委員会	生涯学習課
73	ティアトルバレッタクラシックバレエ第10回発表会	ティアトル バレッタ クラシックバレエ	生涯学習課